

行政視察等報告

(会派 公明党)

<視察目的>

D X 事業を積極的に行っている自治体の先進事例を学ぶことにより、今後の安来市におけるD X 事業を進めるにあたって参考にするため

<視察概要一覧>

視察月日	視察先	視察施設	視察内容
令和 5 年 5 月 16 日 (火)	長野県塩尻市	塩尻市役所	AI 活用型オンデマンドバス 「のるーと塩尻」の運行について
令和 5 年 5 月 17 日 (水)	長野県伊那市	伊那市役所	支え合い買い物サービス 「ゆうあいマーケット」運営事業 について
令和 5 年 5 月 18 日 (木)	愛知県長久手市	長久手市役所	買い物リハビリテーションにつ いて

<視察概要報告>

1. 長野県塩尻市

●対応者

塩尻市議会議員 建設事業部都市計画課計画係係長 都市計画課計画係主任
議会事務局長

●説明概要

AI 活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」についての事業経緯（塩尻市の課題と取り組みへの期待）、実証状況と課題について等担当課より説明を受ける。

<考 察>

塩尻市は利用者のニーズの多様化を背景とする地域振興バス利用者の減少、運転士の高齢化、担い手不足等の課題に対応するため、移動困難者を含む利用者にとって適切な範囲に適切な台数のオンデマンドバスを導入し、持続可能な地域公共交通の実現を目指すために AI を活用したこの事業を始められました。この AI を活用することで乗り合い状況や道路状況などに応じて効果的なルートを生成することができるとのこと。安来市も公共交通としてイエローバスを運行していますが、塩尻市と同じように少子高齢化などの影響により利用者が減少してきています。現在安来市は公共交通を生かしたまち

づくりとしてデマンドタクシーの実証実験が始まりました。

塩尻市のようにAI活用型のオンデマンドバス事業はとてもきめ細かな乗り合い運行です。面積、人口、利用者数など塩尻市とは当然状況は違うとは思いますが、このAIを活用した画期的な事業を安来市も参考にし、市民の移動手段の確保に役立てていければうれしく思います。



2、長野県伊那市

●対応者

伊那市議会議長 企画部企画政策課新産業技術推進係長 議会事務局次長
議会事務局庶務係長

●説明概要

ドローンを使った空飛ぶデリバリーサービスである支え合い買物サービス

「ゆうあいマーケット」運営事業についてまた、ICT ライフサポートチャンネル構築事業（スキーム）について併せて担当係長から説明を受ける。

<考 察>

伊那市は最先端の技術を活用した福祉サービスがとても充実したところでした。「ゆうあいマーケット」「モバイルクリニック」「ぐるっとタクシー」などです。

今回はその中の「ゆうあいマーケット」運営事業を学ばせていただきました。

この事業は、午前中注文した商品が夕方ドローンで届くというもの。

買物に困っている高齢者などをお手伝いするドローンによる迅速な配送と、ケーブルテレビによる手軽な注文などを組み合わせた全国初の新しい買物サービスです。

そして、「最後は人の手で商品を届ける」とのことで、地域のボランティアさんがドローンから商品をおろし、配達される仕組みです。とても暖かさを感じました。

この事業の話聞くまでは、とても夢のような話で本当にテレビで注文したものがドローンで運ばれるなど信じられませんでした。実際ケーブルテレビの画面から注文する体験もさせていただきました。あいにく私たちが伺った日はドローンが飛ばない日で実際の運行状況を見ることはできませんでしたが、このような事業があると買物の手段がない人たちにはとてもありがたいことだと思います。

安来市はドローンとまではいなくても、どじょっこテレビから注文し、それを委託された業者が配達するぐらいの事業はできるのではないかと思います。

そのほか、伊那市で行われている「モバイルクリニック」「ぐるっとタクシー」事業ももっとお話を伺いたかったです。とても勉強になりました。

3、愛知県長久手市

●対応者

長久手市議会議員 福祉部長寿課課長 長寿課課長補佐 長寿課地域支援係
係長 長寿課地域支援係主事 議会事務局長 議会事務局議事課主任

●説明概要

日常生活により近い形での介護予防活動としての「買物リハビリテーション」について、実施までの経緯、事業目的、実施運営方法、利用対象者、委託費等、導入後の効果と市民の評価、今後の取り組みについて担当課より説明を受ける。

<考 察>

はじめに長久手市の概要を伺いました。人口 6 万人、面積 21 km²（安来市の 20 分の 1）平均年齢 41 歳、高齢化率 17，％（全国一若い町）そして、隣接する名古屋市や豊田市から子育て世代の流入が多く人口増加が続いているとのこと。なんともうらやましい限りの市の現状でした。昨年ジブリパークもでき、さらにまだまだこれから造成されるとのことです。とても暮らしやすい町であると感じました。今回は、「買物リハビリテーション」について学びました。高齢者の「買い物支援」と、外出を促し、専門家による健康チェックと軽運動を行う「健康教室」を合わせた事業で、この事業を利用される高齢者の介護認定率が下がっている。多様な生活状況の方が教室を通して交流する機会が増えたなど効果も出ているようです。面積が 21 km²という地の利の良さがあってこ



の事業の成果があるように思います。市内のあらゆる場所から中心地に出かけるのにも時間もかからず移動ができることは、様々な事業を行う上でとても大事な要素であると思いました。全国一若い町が高齢者にも優しい町であると実感しました。安来市においても地域を限定して少しずつ始めるのもいいことではないかと思いました。